

# 国際郵便物を通じて担う「税」と「関」



東京外郵出張所では国際郵便物の輸出入を取り扱っています。その中で通関部門では「税」の部分である課税業務、「関」の部分である不正薬物等を取り締まるための検査と審査（他法令等の確認）を業務ローテーションで担当しています。課税業務では貨物外装にある税関告知書とインボイス等の価格資料を確認して課税を行っています。

また、検査業務では詳しい検査が必要と判断した郵便物を開披して検査を行い不正薬物等を発見したり、その他にも分類、知的財産、他法令などの確認が必要となる物品については、適切な部門に引継ぎを行っています。



平成30年度採用  
一般職高卒（事務）  
東京外郵出張所 通関部門

## 税関を目指した理由

専門学校で行われた業務説明会への参加がきっかけです。漠然と公務員になりたいと考え、公務員専門学校に通っていましたが、他の事務職とは異なる業務の幅広さに魅力を感じました。旅客の携帯品に対する検査、海港での水際取締、輸出入貨物の通関審査や適正な関税等の徴収など、税関には多様な業務があることを知りました。そして、それぞれの業務が役割を持って行われており、特定の分野に限られない点に関心を持ちました。さらに、幅広い業務に携わりながら法令知識や理解を深めていける点に惹かれ、税関職員を志望しました。

## 仕事をしていて大変だったこと、 うれしかったこと

大変なのは日々の検査業務です。東京外郵出張所では最大30kgまでの郵便物を取り扱っています。重量のある郵便物は検査に時間もかかりますし、X線かけるのも一苦勞ですので体力勝負なところがあると思っています。

うれしかったことは自ら不正薬物を摘発した時です。開披検査が必要と判断した郵便物は自分の納得いくまで検査するよう心掛けています。





## 休日の過ごし方

現在はシフト勤務のため、街が混雑しない平日に外出することが多いです。都内の美術館を訪れたり、美味しいものを食べたりと、穏やかに過ごしています。また、年次休暇も自由に取得できるため、地元の新潟へ帰省し、自然に触れたり愛犬と過ごしたりしてリフレッシュしています。



## とある1日のスケジュール

- 09:00 始業ミーティング
- 09:15 一次検査  
(税関告知書の確認等)
- 12:15 昼休み
- 13:15 二次検査(開披)
- 16:45 検査終了、残務処理等
- 17:15 退庁



ダンボールの開披スピードなら負けないワン!



## 職場の雰囲気

部門間の風通しが良いと思います。本関と比べると小規模官署なので同じフロアに全ての部門が集約されています。ですから職員同士が顔を合わせる機会も多いですし、検査中に総括部門の方が巡回してくれるので困った際にはすぐに相談することができます。

## 税関職員を目指す人へ一言



税関では業務内容が多岐にわたるため、きっと自分が興味を持てる仕事に出会えるはずですよ。さまざまな業務を経験する中で知識や視野が広がり、最終的には自分の得意分野を見つけ、専門性を高めていくこともできます。少しでも税関に興味や関心がある方は、ぜひ業務説明会に参加してみてください。